

講演：「東日本大震災から何を生み出すべきなのか

～国際共通語エスペラントで語ってきたこと～」（仮題）

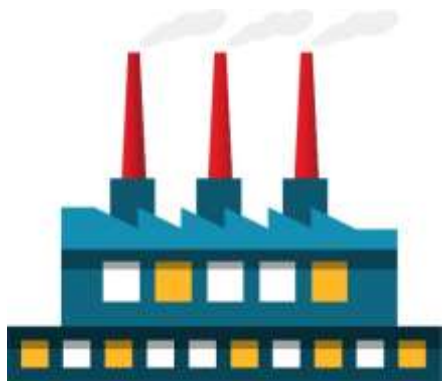
講師紹介

堀泰雄さん（1941 年生まれ、74 歳。群馬県在住）

元高校、大学の英語の教員。

世界エスペラント協会理事、日本エスペラント協会理事などを歴任。

現在は年金生活で、エスペラント作家。



講師からのメッセージ

私は、東日本大震災を自分のこととして受け止める決心をしました。私が生まれてから 70 年近い人生の中で、最大の被害でしたし、それに加えて世界的に重大な原発事故も伴っていたからです。それで、震災を、エスペラントで世界に、国内に報告する運動を続けています。

（1）日本語では、毎年「世界の旅人堀さんのエスペラントエッセー」を出版して、皆さんに読んでもらっています。また、「震災の記憶」「震災の遺品」という 2 冊の写真集（日本語・エスペラント両語）を出しました。

（2）エスペラントでは、被災地訪問の報告をまとめて、毎年「Raportoj el Japanio（日本からの報告）」という本を出して世界の人に読んでもらっています。これらの報告は、フランスではフランス語に翻訳され、反原発団体などに転送されています。昨年 5 月には、私の報告に基づいて、パリで 3 日間「Fukushima in progress」という演劇も上演されました。

講演では、映像を見ながら、この 5 年間を振り返りたいと思います。詩を朗読したり、私が作詞した歌を歌ったりしながら、震災にける私の思いを熱く語りたいと思います。エスペラントが本当に役に立ち、世界を変える力になることをお示ししたいと思います。多くの方の参加をお待ちしています。

エスペラント：言語を異にする民族間の「橋渡し」のために考案された国際共通補助語です。たんなる夢想ではなく「じゅうぶんに実用できる言語」であることを、講師の堀さんが実証してくださいます。

とき・ところ： 2016 年 10 月 23 日（日）13：00～16：00

かでる 2.7（中央区北 2 条西 7 丁目）810 会議室 B

入場無料！ 事前申し込み不要！（直接会場へお越しください）

お問合せは：北海道エスペラント連盟

0126-35-7153（川合）または hokkaido_esp_ligo@yahoo.co.jp（横山）までどうぞ。

エスペラント 北海道

検索

